

1 課題と今年度目指すべき方向性

【1】 「資産の総合評価」の見直し

より一層取組み効果を高めるため、資産の総合評価の評価手法の見直しを行う

【2】 公共施設等総合管理計画の見直し（3年に1度）

P D C A サイクルに則り、3年に1度の検証・見直しを行う

2 「資産の総合評価」の見直し

【1】評価指標の設定

- ★資産の総合評価構築時から約10年経過しており、社会情勢の変化等もあったため、従来の評価指標の妥当性について検証する必要がある

【2】毎年の評価対象施設の設定

- ★毎年、270程度の全施設を対象にモニタリング評価を実施している。
職員の負担が大きい一方、検証が形骸化している。
毎年度、モニタリング評価を実施しても、施設の数値上の経年変化があまり確認できない。
→ 1巡目の評価から約10年経過しているので、その後の施設を取り巻く環境や利用状況等の変化を踏まえた検証方法を検討したい

【3】資産の総合評価手法の設定

- ★資産の総合評価2巡目にて評価づけた「見直し施設」の進捗が芳しくない
(参照：資料2のスライド8ページ 及び 11ページ)
→ 施設の評価づけプロセスを再考し、各局によるマネジメントを支援する視点を取り入れながら、より実効性のある資産の総合評価手法を構築する

3 公共施設等総合管理計画の見直し

【1】関連する計画等との連携

★市の関連計画の策定・改訂に連携し、総合管理計画における表現等を改める

→「千葉市次期基本計画」（R 5～R 1 4）及び「第 1 次実施計画」（R 5～R 7）の策定作業中
「ちば・まち・ビジョン」（R 5～R 1 4）の策定作業中
「中期財政運営方針」（R 4～R 7）

【2】脱炭素化社会に向けた対応等

★総務省より、市の脱炭素化推進方針について総合管理計画に明記するよう求められている

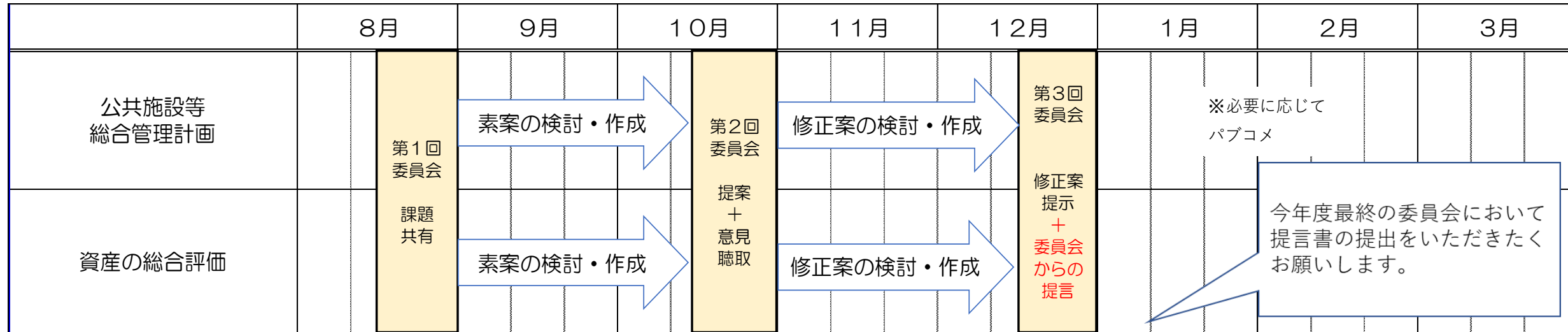
→脱炭素化社会に向けた公共施設改修等の推進方針について、総合管理計画に記載する。

【3】その他軽微な修正

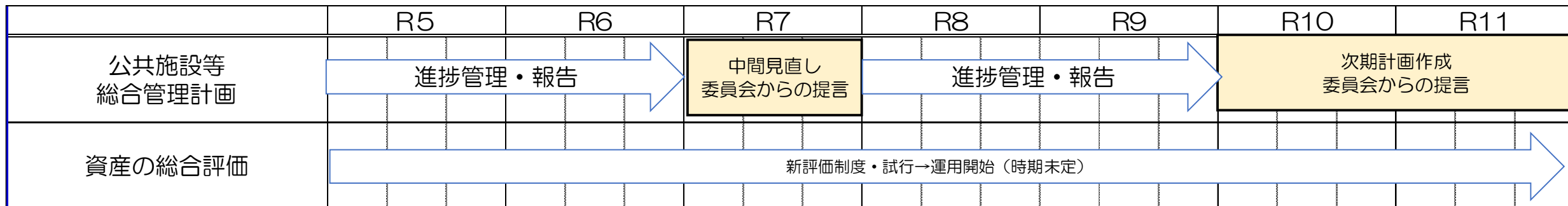
★現行の総合管理計画に記載される情報を精査し、取組みの軸が明確に浮き立つよう洗練させる。

4 スケジュール

★年度内スケジュール



★次年度以降の流れ（イメージ）



※いずれも、進捗状況に応じスケジュールに変更が生じる場合があります。